

世代をまたいで続く暴力

平成21年10月1日

これも必死な小さな人間達の姿だと思う。平成13年の10月に相談を受けた。夫 R 君 21歳、妻 Y さん 21歳、1ヶ月の男の子の3人家族。相談は夫 R 君の暴力でした。R 君は幼稚園からサッカーを始め、小学校2年までやっていたが、友人曰く、いつもコーチに叱られていた。小学校2年生の時、友達の勧めで柔道場に通い始めた。小中学校の時はよく友達と喧嘩をした。柔道は面白く続いた。中学校3年生の時、柔道部で有名な G 高の練習に1週間参加したが、学力が追いつかず、S 高校に入学。寮生活が始まった。しかし、物が盗まれたり、洗濯ばかりやらされるいじめに遭い、夜中寮を脱走したこともあった。耐えきれず、3年生になる前に S 高校を中退。R 君は、酒は飲まないが、タバコを吸う。シンナーも経験した。19歳の時、Y さんと出会い、つきあい始めた。この頃、R 君は時々暴力をふるった。彼が20歳の5月に、父親と大喧嘩をし、Y さん宅に転がり込んだ。その年の11月、Y さんの妊娠が判明。妊娠中、R 君に冷水を浴びせられることもあった。Y さんの母親は墮胎も考えたが、3ヶ月の胎児の超音波写真を見て喜ぶ R 君に思い留まった。9月長男出産後も、Y さんはお椀を投げつけられ、実家に帰った。

聞くに、彼が小学生の頃、彼の父親は酒を飲んで暴れまくり、彼をよく殴った。彼は歯を食いしばりながら、絶対酒は飲まないと誓ったと言う。父親とお会いした。やはりアルコール中毒だった。彼のカウンセリングを勧めた。